

中学校第3学年 国語科 単元名「説得力のある批評文を書こう」

1 本単元で人権教育を進めるにあたって

本単元では、社会生活の中から関心のある事柄を選択し、批評文を書くことを通して、論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得ある文章を書く力を身に付けることをねらいとしている。

関心のある事柄を批評するには、書き手（生徒）の視野の広さや論理的に物事を考える力が必要になる。書き手の主観だけでなく、客観的・分析的に物事を見つめる姿勢をもたせることが重要となる。それが、人権教育で育てたい「複数の情報源から情報を収集し、科学的・客観的に思考する技能」を養うことにつながる。

ここでは、根拠を明らかにして自分の意見を述べたり、他の意見を聞いたりする学習を通して、様々な立場や考え方があることに気付かせ、日常生活の中でも様々な意見を肯定的に受け入れる態度や科学的・客観的に判断できる技能を身に付けさせたい。

2 単元の目標

自分の関心のある情報を選び、論理の展開を工夫し、資料を適切に引用して、説得力のある批評文を書くことができる。

3 人権教育を通じて育てたい資質・能力

自分の考えの根拠となる情報を多用な方法で集め、様々な角度から物事をとらえ、科学的・客観的に判断することができる。（技能的側面）

4 指導のポイント

(1) 人権感覚を育てる上で大切にしたいポイント

- ポスターを自分で選ぶという課題を設定したり、活動しやすいワークシートを準備したりすることで、課題意識をもって主体的に取り組めるようにする。
- 授業の中に、適宜グループ活動を取り入れることで、他の生徒と積極的に関わろうとする姿勢を育成する。
- 集めた情報を吟味し、分析したり、意見交流の場を設けたりすることで、様々な考え方や立場があることに気付かせ、科学的・客観的に判断する力を育成する。
- インターネットを使用する場合の注意点にも触れ、情報モラルについて理解させるとともに、引用するときのルールも押さえる。
- 確かな根拠を挙げて表現する力を身に付けさせるために、個人思考の時間及び自分の考えや意見を述べる機会を確保する。

(2) 人権が尊重される授業づくりの視点

①自己存在感

授業の中に自分の考えをもつ場を多く設けたり、グループ活動等を通して、お互いの考えや意見を交流したりすることで、一人一人に役割があることを実感させ、自己肯定感をもたせる。

②共感的人間関係

お互いの考えを交流したり、作品を評価し合ったりすることで、様々な物事のとらえ方や表現の仕方があることを認め合う態度を育てる。

③自己選択・決定

選択できる課題設定を行うことで、興味・関心をもって活動に取り組めるようにする。

5 学習の流れ

(1) 指導計画（6時間取り扱い）

※東京書籍「観察・分析して論じよう」の例

学習活動	人権尊重の視点を踏まえた指導上の留意点等
1 批評文について理解する。 ○「桜町ドリームズ」のロゴマークを比較し、どちらが優れているか考える。	○学習の流れを明示し、生徒一人一人に課題解決に向かう見通しをもたせる。 ○根拠を明らかにさせることで、説得力が増すことを理解させる。 ○「批判」と「批評」が違うことを説明する。
2 批評文の書き方について理解する。 【2時間】 ○ポスターの審査員として、3つのポスターでどれが優れているかを判断し、自分の意見をまとめる。 ○「チョコレートの新商品」を売り出すためのポスターを選び、批評文を書くための根拠を集める。	○生徒が主体的に活動するために、比較する視点（文字・絵・構図）を示す。 ○3種類のポスターを比較することで、それぞれに異なった特徴（よさ）があることに気付かせる。 ○自分とは違う感じ方や考え方があることに気付かせるために、お互いの意見を交流させる。 ○書くことを苦手としている生徒も取り組みやすいように、書き方の手順を確かめさせる。 ○ポスターを選ぶときには、売れるために自分の考えた観点から情報を収集させる。 ○教科書の参考資料を示すことで、ポスターを選んだ自分の観点到にふさわしい情報を手に入れる大切さを伝える。 ○情報を収集する際は、インターネットによる収集だけではなく、本や新聞な

	<p>ど多様な資料からも収集させ、引用するときのルールも押さえる。</p>
<p>3 根拠となる事柄を取捨選択し、批評文を書く。 【2時間】 ○批評文を書くためのメモを書く。 (本時 1/2) (ワークシート1・2)</p> <p>○「チョコレートの新商品」を売り出すためのポスターを選び、論理の展開を工夫して批評文を書く。</p>	<p>○根拠の明らかな文章にするために、集めた情報を、取捨選択させる。 ○「観察・分析した内容を見る視点」として3点を提示して評価させる。</p> <p>○根拠と主張を明確にして書かせる。 ○資料を引用するときのルールを理解させる。 ○支援を要する生徒には、ワークシートを工夫するなど個に応じた手だてを講じる。</p>
<p>4 批評文を読み合い、感想を伝え合う。</p>	<p>○お互いに読み合う中で、友だちの考え方や見方と自分との違いに気付かせる。 ○多面的に物事がとらえられるよう、作品を評価し合う中で、他の作品のよさに気付かせる。</p>

(2) 人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例 (4 / 6時間目)

目標

◇自分の関心のある事柄を選び、資料を適切に引用して、批評文を書くためのメモを作成することができる。

人権教育で育てたい資質・能力

◆様々な角度から物事をとらえ、科学的・客観的に判断することができる。

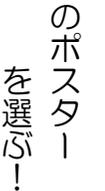
主な学習活動	○指導上の工夫・留意点 評価◇◆	備考
<p>1 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○学習の流れを明確にし、本時のゴールをイメージさせる。</p>	
<p>根拠となる事柄を取捨選択し、「チョコレート」の新商品販売に向けて選んだポスターについての批評文を書くためのメモを作成しよう。</p>		
<p>2 ポスターを観察・分析した結果をまとめよう。 【観察・分析の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字（キャッチコピー・書体など） ・絵（色・明確さ・配置） ・構図 <p>3 2でまとめた内容を友だちと見せ合い、お互いに助言する。（グループ活動） 【観察・分析した内容を見る視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好き嫌いだけの主観的な文章になっていないか。 ・具体性や客観性のある根拠になっているか。 ・自分の考えた観点とそれを支える根拠が適切であるか。 	<p>○前時に収集した情報を基に、選んだポスターの観察・分析した結果をまとめさせる。</p> <p>○観察・分析した内容を見る3つの視点を与えることで、まとめた内容を客観的に判断できるようにする。</p> <p>○具体性や客観性のある根拠になっているかを判断するために、意見の根拠とした情報をワークシートに記入させておく。</p> <p>○グループ活動を活用し、多くの友だちの意見を参考にさせることで、様々な見方があることに気付かせる。</p> <p>○友だちの意見に助言しやすいように、色分けした付箋を活用する。</p>	<p>ワークシート1</p> <p>付箋</p>

<p>4 批評文を書くためのメモを作成する。</p> <p>○ポスターを観察・分析した内容を見直し、批評文を書くためのメモを作成する。</p>	<p>○観察・分析した内容を見直す際に、友だちの意見を参考にして、3つの視点に立って判断し、メモを作成するように助言する。</p> <p>◆観察・分析した内容を、3つの視点に立って、科学的・客観的に判断している。</p> <p>◇根拠となる資料や情報を活用した3つの視点を踏まえたメモを作成している。</p>	<p>ワークシート 2</p>
---	--	---------------------

6 資料

- 東京書籍 新しい国語
「観察・分析して論じよう」 pp.139～146
- 光村図書 国語3
「説得力のある考えを述べよう」 pp.32～40
- 三省堂 中学生の国語
「主張文を書こう」 pp.112～117

「観察・分析したことをまとめよう」

チヨコリートの新商品を販売します。販売戦略としてポスター作成をするということになりました。あなたは、販売促進部の部長として、どのポスターを選びますか？
私は  のポスター  を選ぶ！
売り出すために、私の考えた観点は  です。

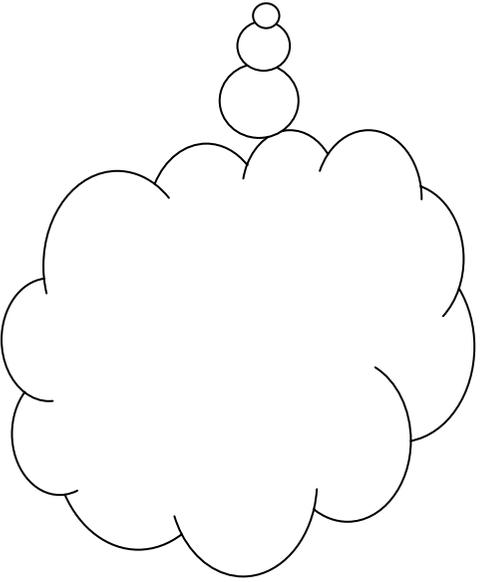
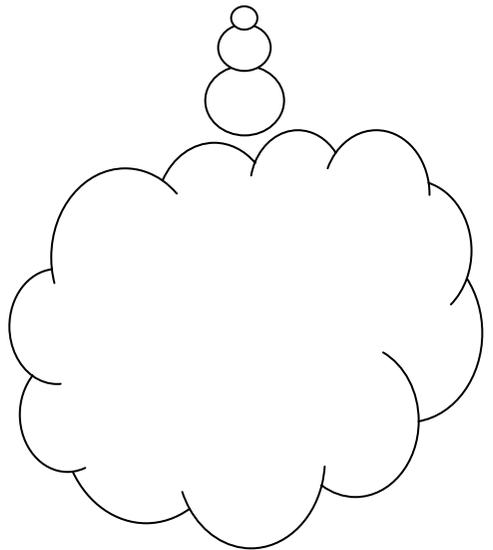
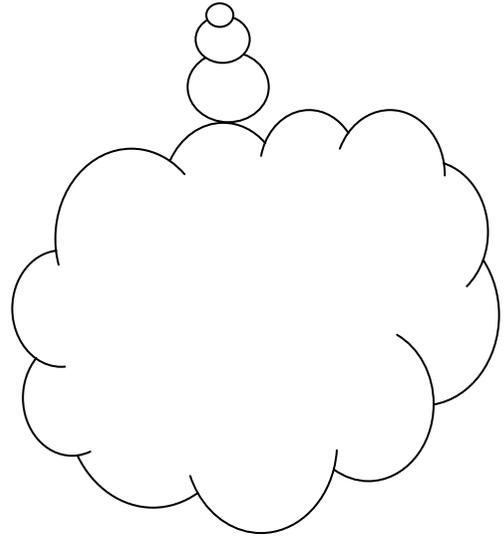
観察・分析

自分の考えた観点から選んだポスターを文字・絵・構図の点から観察した内容を、下の枠内に書きましょう。

文字(キャッチコピー・書体)

絵(色・明確さ・配置)

構図



あなたの考えた観点からどんな点が文字・絵・構図の点からいいと思ったのですか。調べたことを基に理由を書きましょう。

「批評文を書くためのメモを書く」

ワークシート1「観察・分析したところを共有し、「を参考にして、批評文を書くためのメモを3つの視点から書き出し」。

私の考えた観点は、

です。

【文字に関する観察・分析の】…根拠を教えてください。

【絵に関する観察・分析の】…根拠を教えてください。

【構図に関する観察・分析の】…根拠を教えてください。